

Grafsec 第5回全国大会発表資料

2017年度
Grafsec 助成事業実施報告

2019年3月14日
一般社団法人LOCAL
理事 八巻 正行

事業名

- 北海道内における情報セキュリティ関連イベントの開催支援

目的

- 当会および地域団体が主催する情報セキュリティ関連イベントの企画、運営を支援し、北海道内の情報セキュリティ意識の向上、啓発を図る。
- 若手を中心とした情報セキュリティ人材の発掘、育成を行う。

期間

- 2017年10月1日～2018年9月30日

LOCALとは？

- <https://www.local.or.jp/>
- 北海道における技術系地域コミュニティ（IT勉強会等）の活動を支援し、地域を盛り上げていくことを目標とする有志の集まり。

マスコットの「ろかんと君」→



情報セキュリティへの取り組み

- 道内での講師育成をはじめ、情報セキュリティ関連イベントへの講師派遣、スタッフ派遣を行い、道内外の団体との協力体制を形成。
- 内閣府発行「青少年のインターネット環境整備に取り組む民間団体活動事例集（平成29年3月版）」を参照。
- https://www8.cao.go.jp/youth/youth-harm/chousa/h28/minkan_katsudou/pdf-index.html

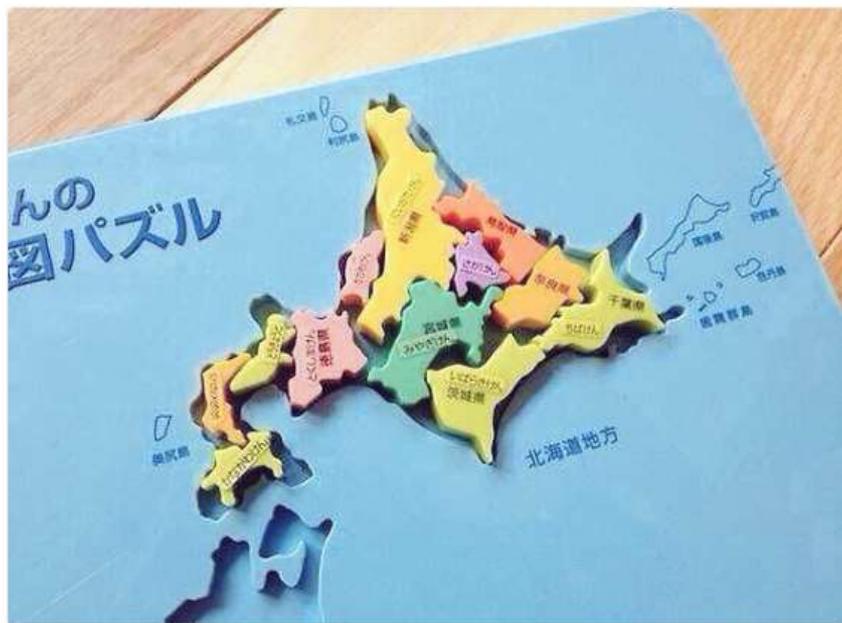
北海道特有の課題 (1)

広大な面積

豊川ホウ  VtuberPR垢【公式】
@Hou_PR

フォローする

北海道にこんだけの都道府県が詰め込めてビビてる



12:44 - 2015年4月19日

https://twitter.com/Hou_PR/status/589635735105339393

<https://twitter.com/jiwajiwanela/status/369267552444108801>



じわじわ笑えるシュールネタ

@jiwajiwanela

フォローする

【道民は思った】

他県民「2泊3日で北海道旅行行きたい ♥」

他県民「まずは札幌行って観光してから小樽行く ♥」

他県民「それから旭川行って富良野の行って ♥」

他県民「帰りは函館見て帰りたい ♥」

ほぼ移動

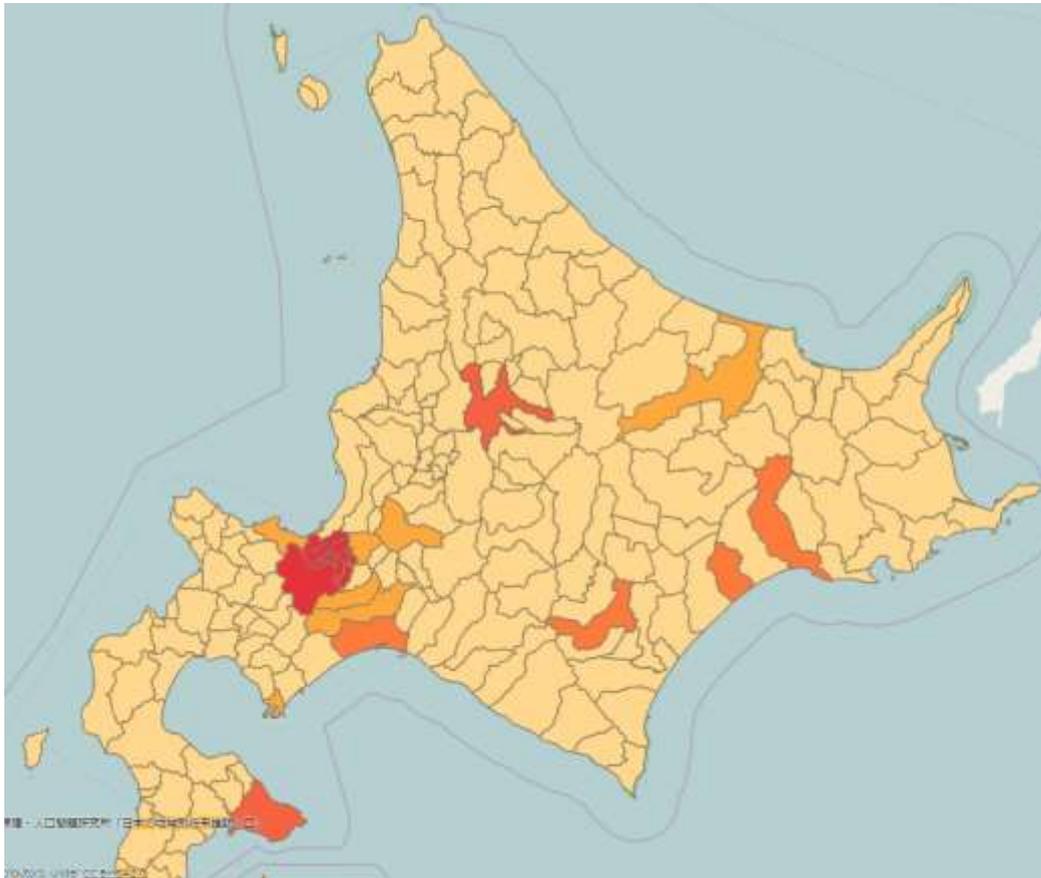
お解りいただけるだろうか……



10:20 - 2013年8月19日

札幌への一極集中化

東京⇔地方の縮図が北海道にある

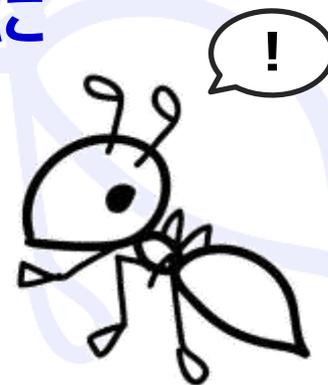


広大な面積

- 何をやるにしてもお金と時間がかかる
→ **お金の部分をGrafsecに支援していただけないか？**
- 遠隔地であっても地道な啓発は必要
→ **次回から自分達でできるよう継承できないか？**

札幌への一極集中化

- 裏を返せば、札幌には人材が集まっている
- 活動が盛んな地域 = キーマンとなる人材がいる
→ **札幌で人材を育成し、地元へ戻った時にキーマンになってもらえないか？**



1. インターネット安全教室 開催協力

- 一般の方を対象とした、インターネットを安全／快適に利用するためのセミナー
- 講師および運営スタッフを派遣、現地団体との連携

2. セキュリティ・ミニキャンプ in 北海道 開催協力

- 25歳以下の大学院生・学生・生徒を対象とした、情報セキュリティ人材の発掘、育成イベント
- 主催団体として北海道大会の企画、運営を執行

3. 情報セキュリティ啓発に関する勉強会 開催

- 学生、IT技術者を対象とした以下2回の勉強会を開催
 - 特集「河野省二のセキュリティ」
 - LOCAL DEVELOPER DAY '18 /Security

名称	インターネット安全教室@森町
日時	2017年12月17日（日） 14:00～16:00
場所	森町公民館（北海道茅部郡森町）
主催、共催等	主催：森町役場、森町教育委員会、森警察署、 独立行政法人情報処理推進機構（IPA） 共催：NPO日本ネットワークセキュリティ協会、 北海道情報セキュリティ勉強会、一般社団法人LOCAL 後援：サイバーセキュリティ戦略本部、警察庁
参加数	30名（小・中学生、保護者、町職員、教員等）
内容	<ul style="list-style-type: none">インターネット安全教室ビデオ教材、テキストを使用しながら、インターネット、スマートフォンを利用するにあたっての注意点を解説した。講師：八巻 正行、蒲田 拓也（一般社団法人LOCAL）
参考URL	https://www.local.or.jp/2017/11/6727.html

事業のねらい

- 場所、予算等の都合で、自力で講師調達が困難な地域への情報セキュリティ啓発。
- 一過性の啓発ではなく、以降は地域で自立した啓発活動が可能となるよう、地元団体と連携して開催する。

事業成果

- セミナー参加者への啓発に加え、講師技術、教材の作り方、運営ノウハウを地元へ継承した。
- 今回の開催を機に、森町の団体「ハウモリ」がインターネット安全教室の共催団体となり、道南エリアでの啓発活動に継続して取り組むきっかけとなった。
 - 今後は森町役場との連携も視野に入れ、活性化を目指すとの事。

インターネット安全教室



名称	セキュリティ・ミニキャンプ in 北海道 2017
日時	2017年11月11日（土）～11月12日（日）
場所	北海道大学 情報基盤センター（北海道札幌市）
主催、共催等	主催：一般社団法人LOCAL、 セキュリティ・キャンプ実施協議会、 独立行政法人情報処理推進機構（IPA） 共催：北海道大学情報基盤センター サイバーセキュリティセンター 後援：北海道地域情報セキュリティ連絡会、 北海道警察、 経済産業省北海道経済産業局、 総務省北海道総合通信局 協力：北海道情報セキュリティ勉強会
参加数	24名（大学生、高専生、高校生、中学生）

（次項へ続く）

名称	セキュリティ・ミニキャンプ in 北海道 2017
内容	<p>道内各地（一部道外も含む）から事前選考を通過した25歳以下の学生を集め、1泊2日の合宿形式で情報セキュリティおよび情報モラルに関する専門講座を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none">• ID連携と認証基礎 林 達也（セキュリティ・キャンプ講師）• セキュリティ技術と倫理 佐々木 祐伴（北海道警察 サイバーセキュリティ対策本部）• バイナリ解析の基礎 井澤 賢輝（株式会社イエラエセキュリティ）• AVRマイコンで作るBadUSB工作（IoT演習） 竹迫 良範（高知工業高等専門学校 客員准教授）
参考URL	https://www.local.or.jp/2017/09/6515.html

事業のねらい

- 北海道地域のみならず、日本の将来を担う情報セキュリティ人材の発掘、育成。

事業成果

- 情報セキュリティ業界の第一線で活躍する講師陣から直接手解きを受けることにより、更なる目標と学習意欲の向上に繋がった。
- 参加した学生同士の横の繋がり、講師を交えた縦の繋がりを創出できた。
- 参加した学生達がそれぞれの学校へ知見と経験を持ち帰ることにより、幅広い地域、年代において情報セキュリティ技術の活用、普及を牽引する存在として活躍することが期待できる。

セキュリティ・ミニキャンプ in 北海道

"identity" と "identifier" の例を グループディスカッション

専門講座



2017年11月11日

セキュリティ・ミニキャンプ in 北海道 2017

一人1 BadUSBを作ってます！ 各自で作ったBadUSBの発表とデモも！

専門講座



2017年11月12日

セキュリティ・ミニキャンプ in 北海道 2017

林さんのOAuth愛を感じる講義です！

専門講座



2017年11月11日

セキュリティ・ミニキャンプ in 北海道 2017

ミニキャンプ in 北海道 終了！ 集合写真！

専門講座



2017年11月12日

セキュリティ・ミニキャンプ in 北海道 2017

引用：一般社団法人セキュリティ・キャンプ協議会 公式Twitterより
セキュリティ・ミニキャンプ in 北海道 2017 ハイライト
<https://www.youtube.com/watch?v=j4UFEwc5Yww>

名称	エフスタ!!Hokkaido & LOCAL - 特集「河野省二のセキュリティ」 -
日時	2018年1月20日（土） 13:00～18:00
場所	株式会社インフィニットループ（北海道札幌市）
主催、 共催等	主催：一般社団法人LOCAL、エフスタ!! Hokkaido 後援：北海道情報セキュリティ勉強会
参加数	35名（大学生、高専生、IT技術者 等）
内容	<ul style="list-style-type: none">特集「河野省二のセキュリティ」と題し、氏が情報セキュリティ業界で歩んで来た20年間の経験をベースに、情報セキュリティ業界でのスキル向上、キャリアアップ、倫理観など、この業界を目指す若者へ向け「歩き方」を紹介した。講師：河野省二（日本マイクロソフト株式会社）
参考URL	https://www.local.or.jp/2017/12/6762.html

名称	LOCAL DEVELOPER DAY '18 /Security
日時	2018年9月29日（土） 13:30～18:00
場所	ACU-A（北海道札幌市）
主催等	主催：一般社団法人LOCAL、共催：北海道情報セキュリティ勉強会
参加数	102名（学生、IT技術者、情報部門担当者等）
内容	<ul style="list-style-type: none">・ 基調講演「サマータイムとうるう秒と2038年問題： 時間が情報システムに与える影響」 上原 哲太郎（立命館大学情報理工学部教授）・ なぜ、ITに詳しい人は普通の人に情報モラルを教えられないのか 工藤 陽介（デジタルアーツ株式会社）・ セキュリティ担当者も知っておきたいプレゼンテーションの基礎 前佛 雅人（さくらインターネット株式会社）・ 組み込み屋から見たIoT機器のセキュリティ ～小さな機器でも気になる大事なこと～ 實吉 智裕（株式会社アットマークテクノ）
参考URL	https://www.local.or.jp/2018/08/7423.html

事業のねらい

- 最新の技術動向、業界の歩き方を知り、情報セキュリティへの関心を更に高めてもらう。
- 学習意欲が高く、すでに知識を持っている層へ「伝え方」を教え、啓発する側に回ってもらう。

事業成果

- 両セミナーとも集客、参加者の反応という点で満足いく結果となった。
- 特に学生の参加者数と反応が高く、今後の期待に繋がった。
 - 助成金の一部を学生交通費支援に使用
→ これまで、お金が無くて諦めていた遠隔地の学生にも学ぶ機会を創出できた。

情報セキュリティ啓発に関する勉強会



助成金交付決定金額：500,000円

支出：502,800円

(支出内訳)

- **インターネット安全教室**
 - 講師、スタッフ交通宿泊費：52,902円
- **セキュリティ・ミニキャンプ in 北海道**
 - 学生交通費支援：141,970円
 - 機材費：5,898円
- **情報セキュリティ啓発に関するセミナー（2回合計）**
 - 会場費：116,000円
 - 講師交通宿泊費：159,530円
 - 学生交通費支援：26,500円

事業継続と拡大への期待にどう応えるか？

- 次年度以降も継続開催の希望、他地域からのセミナー開催希望が届いているが、助成金等外部からの支援なしでは継続と拡大が難しい。
- 運営側のリソース不足、人員の固定化をどう解消するか？

効果の測定

- 事業の成果、効果をよりわかりやすく測定する方法はないか？
 - 「開催数」「参加者数」など定量的に表せる要素もあるが、「数」に拘ることで本質を見失う懸念もある。また、数が多ければ良いとは限らない。
 - 効果がでるまでに時間がかかるものがある。

課題解決へ向けて

- 今大会は全国から多数の啓発団体が集まる貴重な場でもある。ぜひ積極的に意見交換を行い、他地域での取り組みも参考にして、課題解決を図っていきたい。

助成を受けてみた感想

- 必要な手続きはGrafsec事務局が懇切丁寧に教えてくれたため、事業の遂行に集中することができた。
- 事業の遂行状況に応じ、当初予定からの修正や相談にも柔軟に対応していただいた。
その結果、より効果的に成果を得ることができた。

**お金が無いから諦めていた
地域、人へ絶大な効果**

**Grafsec の多大なるご支援に
あらためて感謝申し上げます**

ご清聴ありがとうございました

